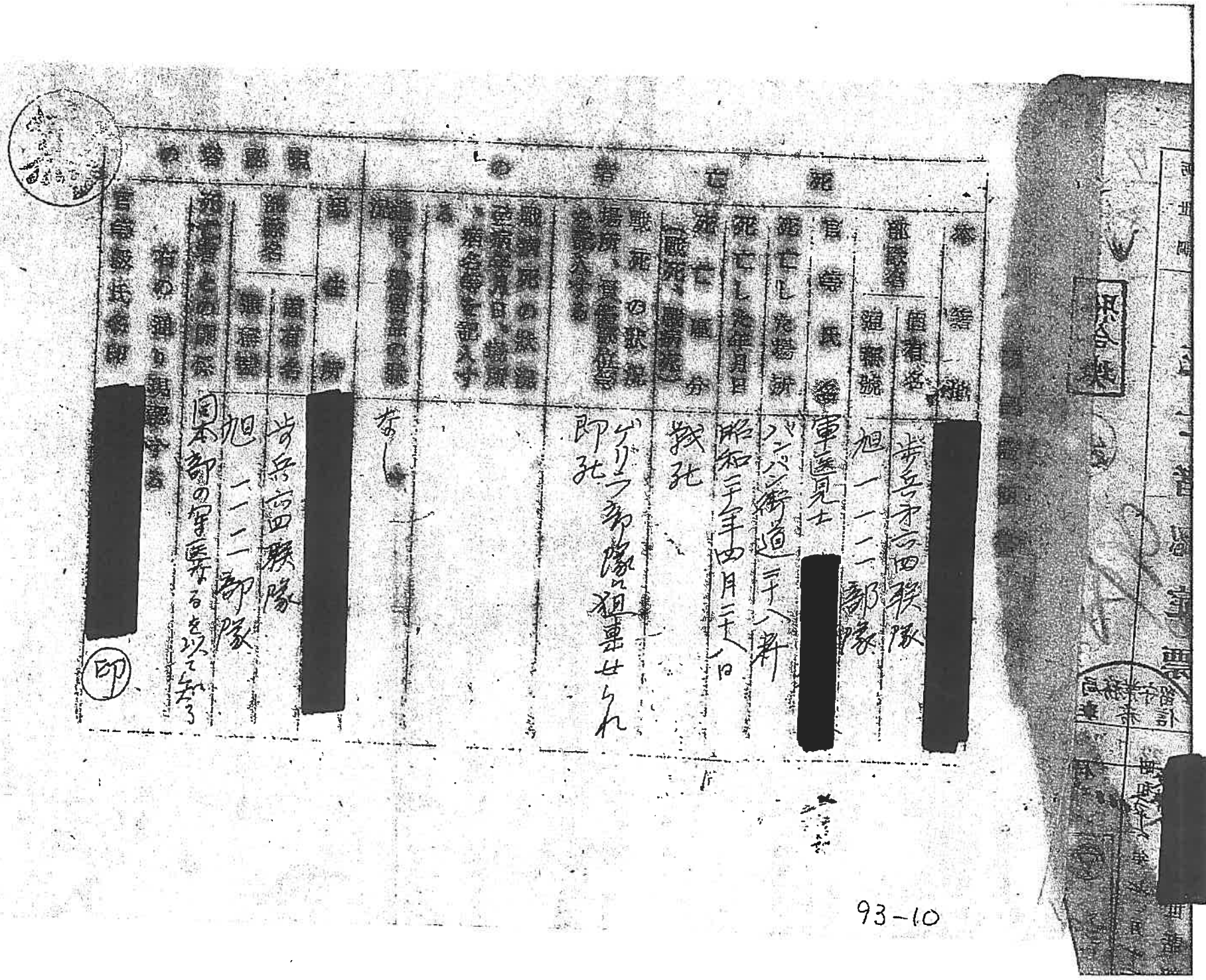

死亡者の[illegible]	本籍		[redacted]
	部隊名	固有名	歩兵第六四聯隊
		通称号	旭一二一一部隊
	官等氏名		軍醫見士 [redacted]
	死亡した場所		バンバン街道二十八粁
	死亡した年月日		昭和二十年四月二十八日
	死亡区分（戦死、戦病死）		戦死
	戦死の状況（場所、[illegible]等を記入す）		ゲリラ部隊に狙撃せられ即死
	戦病死の状況（[illegible]、病名等を記入す）		
	[illegible]		なし
[illegible]	[illegible]		[redacted]
	部隊名	固有名	歩兵第六四聯隊
		通称号	旭一二一一部隊
	死亡者との関係		同本部の軍醫たるを以て知る
	右の通り報告する		
	官等級氏名		[redacted] 印

93-10

609

死亡認定

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號） 威一〇三三五部隊

一、徴集年 昭十三年　役種 陸軍現役　兵種 歩兵

一、官等（死歿前） 兵長 （死歿後） 伍長

一、氏名 [redacted] [redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一、死歿場所 呂宋島北方

一、死亡區分竝ニ事由 戰病死（マラリヤ）（21.3.15 発表）

一、死歿年月日時間 昭和二十年四月二十九日 時刻不詳

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted] 父

右確認（證明）ス

昭和二十五年四月二十日

元所屬部隊名 威一〇三三五部隊

現住所 [redacted]

元官等級 陸軍

氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベク詳シク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted] 地方世話部慰恤係

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）威一〇三一五部隊

一、徵集年 昭和十年　役種 予備　兵種 歩兵

一、官等（死歿前）兵長　（死歿後）

一、氏名 〃 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死歿場所 沖縄島 [illegible]

一、死亡區分並ニ事由 戦死 胸部貫通銃創

一、死歿年月日時間 昭和 20年 6月 8日 [redacted] 時

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted] 妻 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十三年七月四日

元所屬部隊名 威一〇三一五部隊

現住所 [redacted]

元官等級 陸軍伍長

氏名 印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

[illegible]係

部隊長　係員　主任

丁　戦歿者[illegible]證明書

昭和二十一年六月三十日

所属部隊名	独立歩兵第三五九大隊　通称号　威第一〇六〇二部隊
死亡前官等級	伍長（死亡後官等級）[illegible]
徴集年	昭和一五　役種　現役　兵種　歩　氏名　[redacted]
本籍地	[redacted]
留守担当者住所氏名	妻　[redacted]
死亡年月日時分	右の者昭和二十年四月二十八日一四時於比島九七二高地
死亡場所及事由	敵砲弾に依り戦死せしことを確認す（戦部普通命令）
1 遺骨	なし
2 遺留品	なし
3 死亡確認者	
4 その他	

報告者現住所	[redacted]
所属部隊	独立歩兵第三五九大隊
官等級氏名印	陸軍伍長　[redacted]

9.2.10

死亡者見認證

所屬部隊名	步兵第二二三聯隊[illegible]
通稱號	威第四二一一部隊
兵科	[illegible]
兵役	予
官等級	[illegible]
氏名	[redacted]
本籍地	[redacted]
留守宅住所	本籍地ニ同ジ
留守擔當者	妻 [redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月二十八日
死亡場所	ルソン島[illegible]
死亡原因	全身爆創（砲弾）
遺骨遺品	ナシ
死亡前後ノ狀況	

死亡者ノ經歷

入營（召）年月日	昭和十九年五月十五日
內地港出發年月日	昭和十九年九月[illegible]日
外地港到着年月日	昭和十九年十月五日
主要作戰經歷其ノ他參考事項	

死亡ヲ現認セル者 [illegible]

[illegible]

右ノ通リ相違[illegible]

[illegible]

[redacted]

[redacted]

33-10

813

事實（現認）證明書

所屬部隊　固有部隊名　獨立重砲兵第四大隊

通稱號名　威第一二一八部隊[redacted]隊

官等級氏名（死亡前）　陸軍一等兵[redacted]

本籍地　[redacted]

現住所　本籍地ニ同ジ

右ノ者昭和二十年四月二十八日午前七時　分南部ルソン島サンホセ附近ニ於テ戰死シタルコトヲ證明ス

昭和二十一年四月二十七日

固有部隊名　獨立重砲兵第四大隊

通稱號名　威第一二一八部隊[redacted]隊

本籍地　[redacted]

職官等級氏名印　陸軍兵長[redacted]

21-10

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄　戸主　同

氏名 [redacted]年[redacted]月[redacted]日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號）比島派遣振武集団第[redacted]部隊兵団[redacted]隊大隊第三中隊

三、戰死者徵集年（昭 本）8年「役種　役」「兵種 歩兵」死亡前官等級陸軍上等兵（任官進級年月日）昭和　年　月　日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月三十日午前四時頃、ルソン島リサール州ボソボソ部落北方約十六粁附近ニテ

五、戰死現認ノ程度 確定

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ状況ノ概要
斬込隊ニ於テ仕掛ケラレタル手榴弾ノ発火装置ニ引掛リ受傷シ、隊治療継続中戦死ス

八、死亡區分 戰死　事由 右手首手指爆破片創　發病年月日 昭和二十年四月十四日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者発見者ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、殘部隊等ニテ整理スルカ、整理限定カ、又ハ不明等記入）申立諸ナレバ上陸年月日及上陸地、
生存者部ニヨル

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 番

戰死者トノ續柄 妻　氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年二月　日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同部隊高級医官

所屬部隊名 比島派遣振武集団[redacted]兵団[redacted]大隊

兵種　官等級 陸軍軍医中尉

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

108-10

現認證明書

一、本籍地

一、所屬部隊　[redacted]　飛行二六戰隊（威一八三九九）

一、官氏名　陸軍（死亡前／死亡後）上等兵　[redacted]

[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一、役種兵種年　現役飛行兵　十七年

一、死亡年月日　二十年四月二九日

一、同場所　マニラ東方二〇キロ山中

一、同區分　戰死

一、現認者ノ所見（負傷部位、病名、發病月日）　頭部貫通銃創

一、遺骨ノ有無　無シ

一、遺留品ノ有無

遺族氏名

右相違ナキコトヲ證明ス

昭和22年7月[illegible]日

現認者　本籍地

所屬部隊　[redacted]　飛行二六戰隊（威一八三九九）

階級氏名　上等兵　[redacted]

死亡者處置記事									
年月日									
記事									

25-12

死亡事實（現認）證明書

本籍地 [redacted]

現住所

所屬部隊　野砲兵第八聯隊

徵集年　　官等級　上等兵　氏名 [redacted]

右ノ者昭和二十年四月二十九日二十ク時

分南部ルソンマルヤンヨウニ於テ砲弾破片創（腹部貫通）ニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明（現認）ス

昭和二十三年二月十九日

所屬部隊　職名　野砲兵第八聯隊

官等級　伍

氏名 [redacted]

注意　一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

[redacted]

31—11

817

2

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）威第一〇三一五部隊

一、徵集年　昭十三　役種　補充　兵種　步兵

一、官等（死歿前）兵長　（死歿後）

一、氏名　[redacted]　[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一、死歿場所　比島カワクサン

一、死亡區分竝ニ事由　戰死

一、死歿年月日時間　昭和二十年四月二十九日　不詳　時

一、死歿者本籍地留守擔當者　[redacted]　妻　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十七年七月十三日

元所屬部隊名　威第一〇三一五部隊

現住所　[redacted]

元官等級　軍曹

氏名　[redacted]　印

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

[redacted]地方世話部慰恤係

90-11

818

※死亡現認証明書※　調製　昭和　年　月　日

課長　係員　主任　取扱者　兵籍　整理番號　第　號　等

死殁者認定資料

所属部隊：固有　中部第四大隊
通称：振武第一〇五〇部隊

本籍地：[redacted]

徴集年：昭14
役種：予備
兵種：砲
官等級：兵
死亡后：

氏名：[redacted]
生年月日：年　月　日生

死亡年月日：昭20.4.29
死亡場所：比島ルソン島リザール州三九〇高地

死亡区分：戦死
傷病名：頭部貫通銃創

現住所：本籍地に同じ

留守担当者
続柄：養父
氏名：[redacted]
戸主名：同上
死亡者続柄：

発病受傷年月日：昭20.4.29
発病受傷場所：比島ルソン島リザール州三九〇高地

入院年月日：
入院場所：

受傷（発病）より死亡に至る迄の状況：
昭20.4.29 比島リザール州三九〇高地（通称一誠山）に於て戦闘中
頭部貫通銃創に依り即死す

23-10

入隊後死亡迄履歴

19.6.20 中部才四〇部隊應召

19.7.12 門司港出発

19.7.29 基隆港上陸

19.8.1 台中警備

19.11.30

19.12.1 高雄港出発

19.12.12 [illegible]港出発

遺骨状況　ナシ

上記死亡後関係官公署ヘ報告（通報）有無　ナシ

現認者

現住所　[redacted]

所属部隊　中部才四〇大隊

死亡者との関係　同隊軍医

階級　軍医中尉

氏名　[redacted] 印

※所見

調製上の注意

一、※印の箇所は当部に於て記入す

二、履歴欄には入隊より戦死に至る迄詳細に記入のこと

三、戦死当時の状況は特に明瞭詳細に記入のこと

四、一部調製とす　鉛筆書は不可

五、本書送付先は[redacted]教育民生部第一世話課現認係宛とす

生死不明者

桃園甲

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄　戸主 [redacted] 長男

氏名 [redacted] 年　月　日生　160−11

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號）比島派遣鉄第二四四七部隊 中隊 隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年（明治 大正 昭和）十七年「役種 補役」「兵種 輜重兵」死亡前官等級 陸軍上等兵（任官進級年月日）昭和　年　月　日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年一月十九日 ルソン島 カレテ峠

五、戰死現認ノ程度 戰友ノ確認ス

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ状況ノ概要 カレテ峠陣地構築中ナリシ 敵ノ砲撃ニアリシ時 爆撃ヲ受ケ土砂ノ下敷トナリ戰死ス

八、死亡區分 戰死　事由 爆死　發病年月日 昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者登錄ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班（留守部隊等）ニテ整理スルカ、整理確定カ、又ハ不明等記入）（申立済ナレバ上陸年月日及上陸地）

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 父　氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年十一月十五日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 鉄二四四七部隊 [redacted] 隊 [redacted] 隊

兵種 輜重兵　官等級 陸軍伍長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右之通相違ナキコトヲ證明ス [redacted]

~~抑留~~死亡証明書

一 本籍地

一 所属部隊　第六航空通信聯隊第二中隊

一 官等級氏名　死亡前（當年月日）陸軍一等兵　[redacted]

　　死亡後　一

年　月　[redacted]

一 役種兵種　航空兵

一 死亡年月日時　昭和二十年四月三十日

一 死亡場所　比島ルソン島サラクサク峠

一 死亡区分　戦死

一 死亡事由及び病名発病月日　敵弾ニヨリ戦死セル旨部下ヨリ報告ヲ受ク

一 遺留品の有無　無

一 遺族現住所続柄氏名　本籍地　父　[redacted]

右相違無きことを証明する

昭和　年　月　日　現住所　[redacted]

所属部隊　第六航空通信聯隊第二中隊

証明者官等氏名　陸軍中尉　[redacted]

10-12

戰歿證明書

本籍地 [redacted]
所屬部隊 第六航空通信聯隊第二中隊

官氏名 陸軍（死亡前 死亡後）兵長 [redacted] 和 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、役種、兵種、年次 昭一八、現、航

一、死亡ノ年月日時 昭和二十年四月三十日午前十一時三十分

一、死亡ノ場所 比島「ルソン島」サラクサス峠

一、死亡区分 戰死

一、死亡事由又ハ病名發病年月日及現認事由 迫擊砲彈破片、胸部貫通
部隊長陸軍少尉 [redacted] ヨリ傳言

一、遺骨の伴送場所 無

一、遺族現住所續柄氏名 本籍地ニ同じ 父 [redacted]

右相違無きことを證明する

昭和二十一年五月二十七日

現認者 現住所 [redacted]
當時所屬部隊 第六航空通信聯隊第二中隊
當時階級 陸軍軍曹 [redacted]

10-13

823

現認證明書

本籍地	[redacted]
所属部隊	比島派遣威第三一七七部隊
官等級氏名	兵長 [redacted]
發病場所	中部ルソン、ピナツボ山
受傷年月日	
傷病死	
死亡場所	中部ルソン ピナツボ山
死亡區分	戦病死
死亡年月日	昭和二十年四月二十日
摘要	栄養失調が原因ニテマラリヤヲ併発ス

右現認したることを證明す

昭和廿三年四月十四日

現認者

現住所 [redacted]

所属部隊 威三一七七部隊

官氏名 上等兵 [redacted]

22-12

824

現認証明書

本籍	[redacted]
所属部隊	威一八一九三部隊
官等級氏名	陸軍兵長 [redacted]
発病場所	
受傷年月日	
傷病死	
死亡場所	比島「ルソン」島イサベラ州カワヤン町附近「以下不詳」
死亡区分	頭部貫通銃創（戦死）
死亡年月日	昭和二十年四月　日
摘要	

右者現認したることを証明す

昭和二十一年五月二十五日　現認者

現住所 [redacted]

所属部隊 威一八一九三部隊

官氏名 陸軍伍長 [redacted]

2

35-14

825

死亡確認書

威第九三一二部隊

陸軍技術[illegible] [redacted]

右者別紙確認票ノ通リ昭和二十年四月三十日北部ルソン島ツゲガラオ飛行場北方アトラヤン部落ニ於テ「マラリヤ」ニ因リ戦病死セルコトヲ確認候也

但シ死体ハ現地ニ於テ埋葬ス

右確認候也

昭和二十年五月廿七日

[redacted]

確認者　所属部隊　威第九三一二部隊

元陸軍雇員 [redacted]

陸軍

寫し

閣下に書面を以て失禮は多分乍ら先日比島山より復員致し目下自宅に於て傷調手當し靜養致し居りますが御兄[redacted]様の事につき誠に御氣の毒乍ら御報告申上げます[redacted]様は大尉（二十歳）昭三四日時三十分比島ネグロス島附近に於て敵の襲撃の爲めに腹部及大貫通右手の戰傷を受けられました十七[redacted]殿は同部隊に在て航空整備學校より福岡の審査部附、或又捕虜の飛行機搭（東部軍第百二十六部隊）に於きまして高松試驗燒晴の記錄として醫九大醫學の試驗に依れ昔に世界を合入最後の決斷に至れ此すた御援は~~[illegible]~~昨年（十九歳）十月二十二日と思はすす級が以て了云有し從て譜及後[redacted]）有譜人と同様ふ牛

又戦争の分隊長として叱咤激励に努力す
た今でも曹長殿の角新古田入観浦様初め
河家氏、同様比野多驚きと御礼申す
諸様兄上様記憶人との事筆記事、即
誤りていたでせうか何卒御判断に
集しましたから下等（三等）二月以後悪化全島
の日本軍は山に登りました既空乱の我に至
る。昭からある樹林と多日の様に軍隊は没し体
の兵（史）は曹長殿は深に率先陣頭に立
たれて吾の指揮せられ活躍せられますが
遂に四月初め（三年）初旬米軍上陸
地上戦斗は開かれ山に陣取りし我々は食
糧難と戦ひ敵の砲火と戦ひ飛行機と
戦ひ熱地特有の病と戦ひ度に[illegible]

苦戦を続けました [redacted] 様は元気が一
ヶ月の間まるで人の変ったる如く力戦奮斗せら
れ寝もたず四日三晩眠れず夜敵の陣地に寄せ
来る前の日でした形容致し難い迫撃砲の攻撃
にて已に身の置く所も無き有様でした其の
時陣地に下りて第二分隊長として活躍せられ
[redacted] 様の傍に落ち一敵迫の一弾は[illegible]
二命中各々の戦死を遂げられました其の
時わたしは第六分隊長として残る事約二
ヶ月の間兵に有りし頃の毎日戦死の報を聴
き一日と思へど涙に暮れ急で居りました翌日最
早陣地前ニ於て壮烈なる白兵戦を轉開し
急作ら後退思へを遂げ歩兵長の當
掩體[illegible]昭和十九年[illegible]戦死

6-13

809

いません何卒悪しからず御承知下さい
前線配置につては[redacted]と云はずして方に[redacted]
[redacted]様と申し二の激戦でした[redacted]の島には最早
行きないと申されて居りますがまだ他島をも考へ
帰りにならないと思はれます幸い、ぜ曹長[redacted]
ば遂致お前が行きまして良く説明申上げて
遅れ上帰りまして良く今日は今日はと思ひ
漢口や宜昌到着路でも風邪を引きかに対するは[illegible]
の危険の病あって困りつつ元気時々まだが前早拝
過日本部中隊の御手紙下され難有く安心致し
中支にて御知の通り申しました外国居く久
昭和十年十一月十四日[redacted]拝
[redacted]様
御尊父様 許

死亡現認證明書

所屬部隊名	独立飛行第二十中隊
官等級氏名	陸軍上等兵 [redacted]
本籍地	[redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月
死亡区分	戦死
死亡場所	ルソン島バリテ峠へ
傷病名	
負傷又ハ發病當時ノ状況	
現認事由	斬込隊ニテバリテ峠禿山ニテ戦死ス
證明年月日	右ノ通リ證明ス 昭和二三年二月二十日
所屬部隊名	独立飛行第二十中隊
官等級氏名	陸軍伍長 [redacted] 印
現住所	[redacted]

[illegible]

22-12

431

船舶工兵第三十二聯隊

四~~六~~六九一號

昭 八

一

現役

兵 船舶 上

[redacted]

[redacted]

父

[redacted]

戦死

生 上

20 4 下旬

比島 ルソン島

本

部隊長 遺骨 ナレ

遺骨 サレ

同 遺 スル

[redacted] と

吉岡村

船舶工兵第三十二聯隊

陸軍上等兵

戦死（昭一九、一一月十八日 福山ヨリ）

[redacted]

[redacted]

14-42